

半期報告書の訂正報告書

本書は、E D I N E T (Electronic Disclosure for Investors' NETwork) システムを利用して金融庁に提出した半期報告書の訂正報告書の記載事項を、紙媒体として作成したものです。

株式会社エイジス

(941246)

目 次

【表紙】	1
1 【半期報告書の訂正報告書の提出理由】	2
2 【訂正事項】	2
3 【訂正箇所】	2
第一部 【企業情報】	3
第2 【事業の状況】	3
1 【業績等の概要】	3
第5 【経理の状況】	5
1 【中間連結財務諸表等】	5
(1) 【中間連結財務諸表】	5
【中間連結キャッシュ・フロー計算書】	5

【表紙】

【提出書類】 半期報告書の訂正報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成17年 5 月 6 日

【中間会計期間】 第28期中(自 平成16年 4 月 1 日 至 平成16年 9 月30日)

【会社名】 株式会社エイジス

【英訳名】 AJIS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 芦 部 克 生

【本店の所在の場所】 千葉県千葉市花見川区幕張町四丁目544番 4

【電話番号】 043(350)0888(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長代理 西 岡 博 之

【最寄りの連絡場所】 千葉県千葉市花見川区幕張町四丁目544番 4

【電話番号】 043(350)0567

【事務連絡者氏名】 経理部長代理 西 岡 博 之

【縦覧に供する場所】 株式会社ジャスダック証券取引所

(東京都中央区日本橋茅場町一丁目 5 番 8 号)

1 【半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成16年12月10日に提出いたしました、第28期中(自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)の半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、当該半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

1 業績等の概要

(2) キャッシュ・フローの状況

第5 経理の状況

1 中間連結財務諸表等

(1) 中間連結財務諸表

中間連結キャッシュ・フロー計算書

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

1 【業績等の概要】

(2) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当中間連結会計期間は中間連結キャッシュ・フロー計算書の作成初年度であるため、前年同期との比較分析は行っておりません。

当中間会計期間の概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前中間純利益が651百万円と高水準でありましたが、売上債権の増加及び法人税等の支払い並びに固定資産の取得による支出等により、当中間連結会計期間末には1,861百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は、504百万円であります。その主な内訳は、収入要因として税金等調整前中間純利益が651百万円、未払金の増加額408百万円、支出要因として、売上債権の増加額494百万円、法人税等の支払額207百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、191百万円であります。その主な内訳は、収入要因として有形固定資産の売却による収入が23百万円、支出要因として、有形固定資産の取得による支出が97百万円、無形固定資産の取得による支出が85百万円、関係会社株式の取得等による支出が19百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は、147百万円であります。その主な内訳は、収入要因として自己株式の売却による収入が23百万円、支出要因として、配当金の支払額が122百万円、短期借入金の返済による支出が40百万円であります。

(訂正後)

当中間連結会計期間は中間連結キャッシュ・フロー計算書の作成初年度であるため、前年同期との比較分析は行っておりません。

当中間会計期間の概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前中間純利益が651百万円と高水準でありましたが、売上債権の増加及び法人税等の支払い並びに固定資産の取得による支出等により、当中間連結会計期間末には1,861百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は、504百万円であります。その主な内訳は、収入要因として税金等調整前中間純利益が651百万円、未払金の増加額70百万円、支出要因として、売上債権の増加額179百万円、法人税等の支払額207百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、191百万円であります。その主な内訳は、収入要因として有形固定資産の売却による収入が23百万円、支出要因として、有形固定資産の取得による支出が97百万円、無形固定資産の取得による支出が85百万円、関係会社株式の取得等による支出が19百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は、147百万円であります。その主な内訳は、収入要因として自己株式の売却による収入が23百万円、支出要因として、配当金の支払額が122百万円、短期借入金の返済による支出が40百万円であります。

第5 【経理の状況】

1 【中間連結財務諸表等】

(1) 【中間連結財務諸表】

【中間連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

		当中間連結会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)
区分	注記 番号	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前中間純利益		651,288
2 減価償却費		90,996
3 賞与引当金の増加額		38,610
4 退職給付引当金の減少額		1,140
5 役員退職慰労金引当金の減少額		11,190
6 受取利息及び配当金		523
7 支払利息		3,564
8 売上債権の増加額		494,060
9 未払金の増加額		408,557
10 役員賞与の支払額		48,000
11 その他		78,000
小計		716,103
12 利息及び配当金の受取額		464
13 利息の支払額		3,656
14 法人税等の支払額		207,929
営業活動によるキャッシュ・フロー		504,981

(後略)

(訂正後)

		当中間連結会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)
区分	注記 番号	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前中間純利益		651,288
2 減価償却費		90,996
3 賞与引当金の増加額		38,610
4 退職給付引当金の減少額		1,140
5 役員退職慰労金引当金の減少額		11,190
6 受取利息及び配当金		523
7 支払利息		3,564
8 売上債権の増加額		179,267
9 未払金の増加額		70,616
10 役員賞与の支払額		48,000
11 その他		101,149
小計		716,103
12 利息及び配当金の受取額		464
13 利息の支払額		3,656
14 法人税等の支払額		207,929
営業活動によるキャッシュ・フロー		504,981

(後略)